

護岸の緑化試験について（案）

平成20年7月

目 次

	頁
1. 試験目的 -----	1
2. 試験場所 -----	2
3. 試験の実施フロー -----	3
4. 試験期間 -----	3
5. 試験ヤード -----	4
6. 試験項目と内容 -----	10
7. 工程 -----	14

1. 試験目的

市川海岸で整備が進められている石積み護岸を対象に、以下を目的として実施する。

◆護岸緑化の目的

- ①自然石で形成される石積み護岸の景観の改善や、
利用空間としての場の向上を図る。
⇒（画一的、人工的、殺伐感の緩和を図る）
- ②自然石で形成される石積み護岸を、再生のテーマである
「海と陸の連続性」を反映した施設への向上を図る。
- ③先進的な取り組みの事例として、今後の海岸事業の
パイロット的な工事とする。

◆試験の目的

市川海岸の石積み護岸の緑化手法について検討する。

●石積み護岸の緑化手法

- 護岸構造を利用した基盤の形成方法を見出す。
⇒ 石の隙間利用は可能か？ 石の表面利用は可能か？
- 市川海岸の石積み護岸の立地環境に合った植物を確認する。
⇒ 厳しい環境で生育・根付くか？
- 立地環境に合った緑化手法を見出す。
⇒ 種まき？ 株の移植？

2. 試験場所

(1) 試験場所

H18年度完成断面部分およびH20年度被覆予定部分とする。

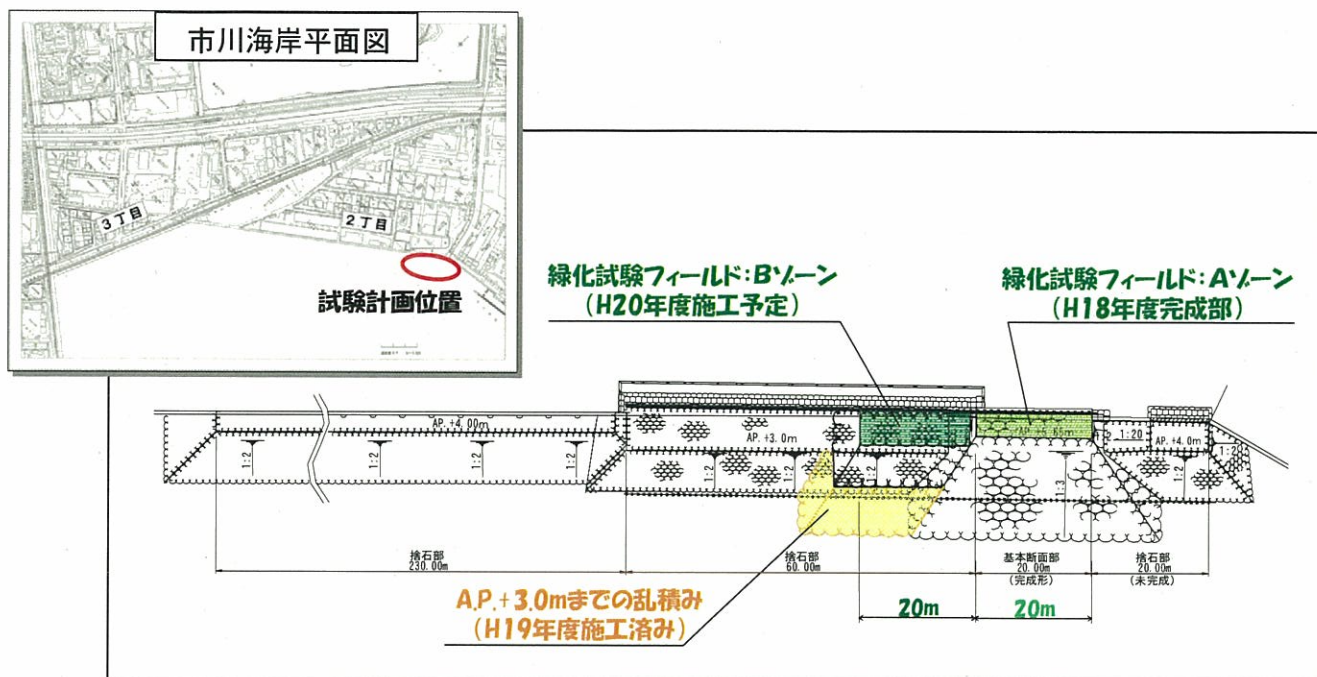


図2-1. 緑化試験場所概況図

(2) 試験範囲 (断面での位置)

荒天時の流れ出しを考え、上記の結果から、以下の範囲とする。

○緑化試験の範囲：H18年度完成断面は天端部部分

H20年度予定断面は天端部分と法面の一部

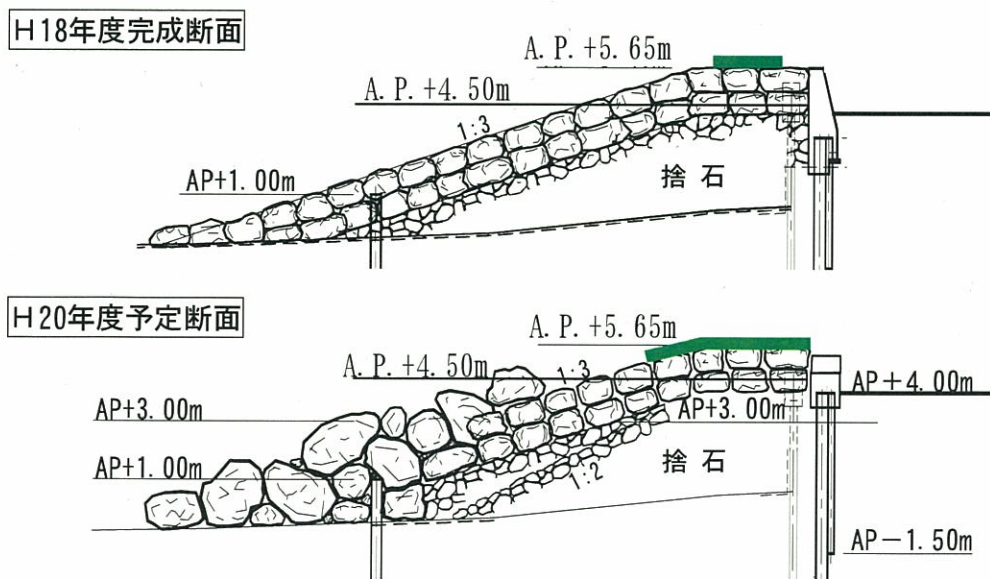


図2-2. 緑化試験の範囲図

3. 試験の実施フロー

試験の進め方は以下を考えるものとする。

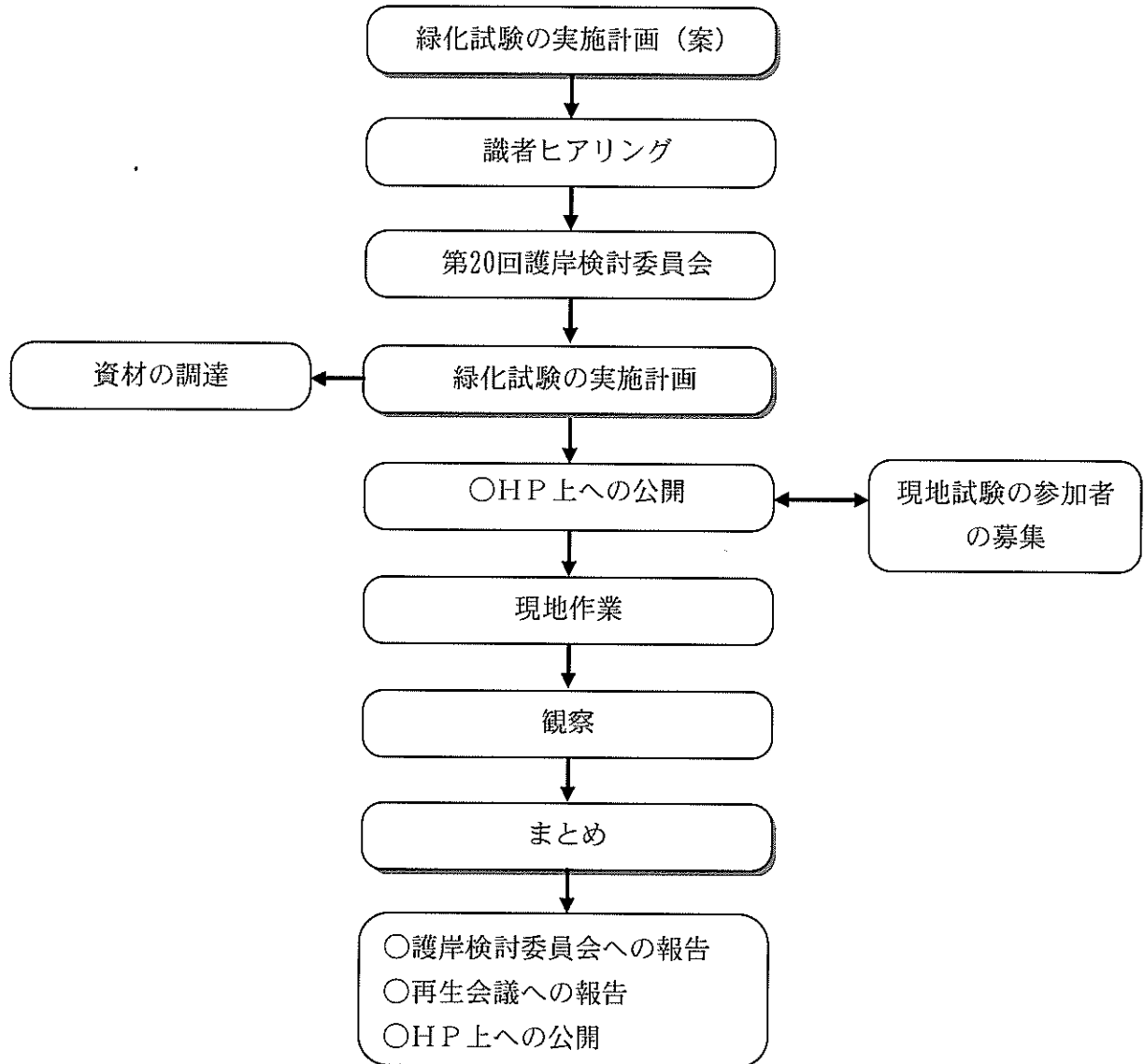


図3-1. 緑化試験の実施フロー（案）

4. 試験期間

本試験の試験期間は以下を考えるものとする。

〇自：平成20年8月 ～ 至：平成22年3月